

商業科人間経済コース 2 年生 「租税教室」 実施



6月2日(月)に、水戸税務署税務広報官の栗田正樹さんを招いて、租税教室を行った。税金の種類や税金の使用法など解りやすく説明がされた。



私たちが納める税金が、私立学校の生徒にも一人6万円ほどの補助として使われていた。県立高校は10万円以上のように、驚いていた。



ゴミの処理費用として、国民一人あたり年間16,000円分を使用しており、警察・消防に至っては、40,000円近くが使われている。税金を納めないと、今の生活が維持されない事も分かった。

【生徒感想】

中橋 涼

日本の税金の種類が約50種類あるとは思わなかった。改めて税金が私たちの暮らしを成り立たせてくれるものだと思います。働いて税金を払っている人達のように、私もしっかりと働いて、義務を果たしたい。

鈴木 茉利奈

税についての話を聞いて、簿記で控除額の話は知っていたが、控除額が想像以上に多くてびっくりしました。また、たばこ税や消費税など、税には50種類以上の種類があることも初めて知ることが出来ました。税というものを払うのは大変だけど、大事だということが改めてわかった。